



看護学部

生体防御感染看護学領域

講座のアピールポイント

生体防御・感染看護学は、私たちが健康に生きるために身体に備わっている働きに注目し、その機能をより高めることができる看護援助を目指しています。対象となる多くの人々がそれぞれの健康レベルに応じた幸せな日常生活を送るために必要な基本的な考え方を学ぶことを大切にしています。

学部教育に始まり、大学院博士前期・後期教育を通して、科学的根拠に基づく看護援助技術の発展に寄与できる人材を輩出したいと考えています。

また、獨協医科大学地域共生協創看護教育センターで病院や地域の施設等で感染防止の担い手となる感染管理認定看護師を、大学院博士前期課程では感染症専門看護師の教育に携わり、多くの皆さんの感染制御・予防に寄与できる人材の教育を担っています。

講座研究紹介

最近の研究は、

新型コロナウイルス感染症の集団感染が多発した高齢者介護施設や重症心身障害児者施設など、感染症に詳しい医療者が少ないあるいは多くの職種が一人の対象者に関わる必要のある施設内の効果的な集団感染予防教育に関する事、治療のため隔離が必要となる患者のストレス緩和に関する事、さらに、看護援助や医療的処置が必要な際の環境が呼吸器・循環器系など生体機能に与える影響、心臓自律神経活動や睡眠・覚醒に影響を与えられ糖・脂質・炎症関連因子の影響と効果的な看護援助に関する事など、大学院生とともに活発に活動を行なっています。